

中学校給食Q&A

教育委員会が策定しました「播磨町立中学校給食に関する基本的な考え方」について、Q&A方式で詳しくお知らせします。

【基本的な考え方】

- 1 播磨町立中学校において給食を実施します。
- 2 給食の実施対象者については、原則として生徒全員とします。
- 3 給食の実施方式については、献立の作成、食材の選定、調理を町で行い、給食の調理、配送などを業者「に委託する方式」を進めます。
- 4 給食の早期実施に向けて取り組みます。

▼問い合わせ 教育総務グループ ☎079(435)0533



Q なぜ中学校給食を実施するのですか？

A ①成長期にある生徒の心身の発達のため、バランスの取れた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進を図ります。

②日常生活における望ましい食習慣を養います。

③食の自己管理能力を身につかせます。

以上などのことを目的として中学校給食を実施します。

《参考》学校給食法第4条 「義務教育諸学校の設置者は、義務教育諸学校において学校給食が

実施されるように努めなければならない。」

Q 給食の実施方式は、小学校で実施している方式とどこが違いますか？

A 献立の作成と食材の選定、調達については町が行いますので、基本的には同じです。小学校では校内の調理場で調理しますが、民間業者の調理場で調理し、中学校に配送する点が異なります。

Q 献立の作成や食材の調達はどのようにするのですか？

A 献立は、町の栄養士が中学生に必要な栄養所要量などを考えて、献立を作成します。食材についても、小学

日本語検定で正しい日本語を身につけましょう

町内で受検すれば1割引！

全国で初めて、播磨町が自治体として取り組む日本語検定！

日本語が乱れているといわれている現在、昨年度から全国規模で日本語検定が実施され、初年度で受検者数が4万人を越したことでマスコミでも話題になりました。今年度は、播磨町が全国で初めて自治体で取り組み、4コミセンを準会場として実施しています。

▶問い合わせ 学校教育グループ ☎079(435)0545 FAX079(437)4193



◀前回の検定会場の様子

今年度の第1回日本語検定は、6月21日(土)に実施され、播磨町では小学生から高齢者まで総勢52人が受検しました。

5級認定となった喜びの声：連池小学校6年 田中航平くん

「広報の日本語検定の記事を見ていたお母さんから、受けてみないかと言われたので、6級か5級かと迷ったけど、5級にチャレンジしよう



▲認定証を手に喜びの田中航平くん

と思いましたが、コミセンで5級の本を借りて勉強しましたが、本番の検定試験では知らないことがあって苦しかったです。

8月に大きな封筒が届いたので、どきどきして開けてみました。合格して、とてもうれしかったです。お父さんとお母さんも喜んでくれました。今度は、中学校卒業レベルの4級にチャレンジしたいと思っています。

田中航平くんのお母さんからの手紙(抜粋)

「播磨町住民に呼びかけて、会場を4カ所設置し、過去の問題に挑戦するチャレンジ教室を実施したりして、事前学習と検定の機会をつくっていたらいいのは、播磨町だけではないでしょうか。息子に受検を勧めたのですが、私も今度3級にチャレンジしたいと思っています。これを機会に正しい漢字・語彙・文法を覚え、美しい日本語を身につけ、子育て・仕事・生活の場で役立てていきたいと思っています。」

小学校では、1食当たり230円ですが、中学生の場合は、食材の量が増えるので、小学校よりは少し高い金額になると考えています。

《参考》給食費(平成19年5月調査)「中学校兵庫県平均 1食当たり282円」

Q 給食の内容はどのようなものですか？

A 小学校と同様に、パンまたはご飯、ミルク及びおかずの3つがそろった完全給食を行います。

Q 全国のどのくらいの公立中学校で給食が実施されていますか？

A 平成18年5月の調査では、8,899校、79.9%の中学校で完全給食が実施されています。

Q 今後はどのように取り組んでいきますか？

A 基本的な考え方に基づき、給食を実施するための具体的な計画を定めていきます。



次は、あなたも挑戦しませんか？ 第2回日本語検定は11月9日(日)

▼対象 播磨町で受検できるのは、町内在住または通勤・通学している方とその家族です。

▼受検料 受検には受検料が必要です(受検する級のレベルと受検料は申込用紙を参照。播磨町は受検料1割引)

▼結果の発表 結果は約1カ月後に個人カルテが送付され、認定及び準認定者には認定書も同封されます。

▼申し込み 野添、西部、南部、東部コミセンまたは教育委員会にある申込用紙に必要事項を記入して、10月7日(火)までに各コミセンまたは教育委員会へ受検料と共に提出してください。

検定前に腕試し！ チャレンジ教室を開催します

日本語検定を想定して、過去の問題にチャレンジしてみませんか？

▼日時 10月4日(土)(午前9分程度) ○6～5級 午前9時～10時20分 ○4～2級 午前10時30分～正午

▼場所 各コミセン(申込書に希望のコミセンを記入してください)

▼教室内容 過去の検定問題(50～60分)、答え合わせと解説(30分)

▼参加費 無料

▼申し込み 各コミセンや教育委員会にある申込書に記入して、10月2日(木)までに各コミセンまたは教育委員会へ直接FAXで提出してください。

PTA地区別 親子綱引き大会



▲チーム一丸となって引いています!

播磨南中学校 3年生

夏休みも終わりに近づいた8月23日(土)午前9時から、中学校の体育館で恒例のPTA行事「地区別親子綱引き大会」が実施されました。

各地区のチームは保護者3人、男子生徒3人、女子生徒3人からなる合計9人の選抜チームです。今年は17チームの参加を得て、真剣な勝負が繰り広げられました。今年の優勝は、二子北チームでした。

今、地域の教育力が問われる中、本校では、PTAが中心となって以前より、地域の保護者と生徒たちが繋がって、「子どもを地域で育てよう」とする取り組みがなされています。その中の地区別親子綱引き大会や年3回の廃品回収などは、子どもたちにとって地域の所属意識を高める素晴らしい取り組みです。今後とも保護者の方々はじめとする地域の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

盛り上がった 「何でも発表会」



▲舞台でも堂々と出来ました

播磨西小学校 6年生

西小で昨年からは始まった「何でも発表会」は、イベント委員会の企画です。子どもたちがみんなが楽しみにしている企画で、今年も大変盛り上がりしました。

出場はクラスでもよし、グループでもよし、もちろん個人でも構いません。内容もその名の通り「何でも」オッケー。休み時間などを使い、子どもたちは一生懸命に準備してきました。持ち時間は5分。劇あり、コントあり、他にも漫才、ダンス、詩の朗読...どのグループも工夫を凝らして発表しました。友達の間で「あつと」といって、笑いや拍手の耐えないあつとという間の1時間でした。初めて見た1年生も、「おもしろかった!」「来年は出たいなあ〜!!」と目をキラキラさせていました。



英語は楽しいよ! ~3年生 英語活動より~



▲口は英語で何て言うのかな?

播磨南小学校 3年生

今日も3年生の英語の時間は、「ハローソング」から始まりました。CDで音楽を鳴らしながら、ダン先生は歌に合わせたシエスチャーつきで、上手に子どもたちの前で歌ってくれます。子どもたちも、笑顔で一緒に歌ったり踊ったり...。ダン先生はアメリカ出身のとっても優しい先生です。歌もうまくて、いつも英語の歌をわかりやすく歌ってくれます。その後は、身体についての言い方を学びました。「arms, eyes, ears, hands...」など、英語で言えるようになったら、次は楽しいゲームです。

ダン先生のひっかけに掛からないように、歌に合わせて指示された所を指すゲームですが、「あく、ひっかかった!」「○○ん、上手! チャンピオンだ!」など教室は大盛り上がり。楽しい雰囲気の中、英語の時間は終わりました。



みんな絵の具で大変身!!



▲「みて、みて!! こんな手になったよ」

播磨西幼稚園 年少組

あつとーい夏空の下、年少組ではボディペインティングをしました。手のひらにのせてもらったゆび絵の具をゆっくり紙の上にぬりぬり...。だんだんと絵の具は腕やお腹に...。大きな真っ白の画用紙の上では体スタンプ!! 自分の体に塗ったり、お友達の体に塗ったり、普段は味わえない感触を楽しみました。

夏休みも園庭であそぼう!!



▲セミの鳴き声で居場所を探します

播磨幼稚園



播磨幼稚園では夏休み中も午前中、園庭を開放しています。友達と誘い合ったり、幼稚園を待ち合わせ場所にして、たくさんの子もたちが親子で楽しんでいきます。

「あつちでセミの鳴き声がある!」「おつたおつた!」と虫とり網を持ち、セミの鳴き声を追って走り回っています。「そーとやで!」「やったー! 捕まえた!」と汗びっしょり。「自転車の練習するねん」とママなしの自転車の挑戦している子どもたちもいます。お母さんたちも子どものそばでニコニコ笑顔で見守ったり、お母さん同士で話に花を咲かせたりして過ごしています。長い夏休みも友達と一緒に遊んだり、お母さん同士で話をしたりして、楽しく過ごさせてよかったですね。

虫さんも友達



▲ゆっくり、ゆっくり、慎重に... 捕まえられるかな?

蓮池保育園

園庭にはセミとり名人がいっぱいいました。網を構えて「しーっ、そーと、静かにせな逃がしてしまう...」と近づき、「やったー!!」つかまえた!!「クマセミ、アブラセミなど体や鳴き声の違いもよく知っていて、虫かごがいっぱいあります。「5個とった」「違つ違つ、虫は5匹って数えるんや...」「セミは長い間土の中にいて、外に出てきたら命が短いから、早くお母さんのところに帰したげよ。ばーばー」と夕方には逃がしてあげています。

小さな命を大切にしたい心、自分のこと、人のことにも思いやりの持てる人に育って欲しいと願っています。季節は秋になり、バツヤやコロギ、カマキリなどが出てくるのを心待ちにしています。

